

平成30年度第6回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 開催日時

平成31年3月15日（金） 午前10時00分～午前11時00分

2 開催場所

府中市役所3階 302・303会議室

3 出席者

（委員）

村上 明雄	西宮 達二	石原 完壽	中村 一夫
小林 一成（代）	渡邊 寛人	高山 俊宏	宮口 泰彦
横島 幸宏	重長 誠（代）	松田 学（代）	上田 隆博
若井 紳壮	木谷 裕之	渡邊 一成	

4 欠席委員

なし

5 議事

第1号議案 府中市地域公共交通網形成計画（案）について

第2号議案 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）の変更について

第3号議案 情報通信技術を活用した次世代公共交通の取組み（案）について

6 配布資料

資料1 府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿／配席図

資料2 府中市地域公共交通網形成計画（案）

資料2 別紙1

資料2 別紙2

資料2 別紙3

資料3 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）

資料4 情報通信技術を活用した次世代公共交通の取組み（案）

7 傍聴者

7人

8 議事の内容

○開会

○会長挨拶

○副市長挨拶

○配布資料の確認

【事務局】

○府中市地域公共交通網形成計画（案）について

事務局より前回協議会での指摘事項に対する修正、素案パブリックコメント方法および結果、その他修正について説明。

【会長】

パブリックコメント後にぐるっとバスの利用状況についての詳細が追加されているが、追加した意図は何か。

【事務局】

ぐるっとバスは通常の路線バスと比較して、高齢者の通院、買い物などの生活に密着した利用をされている。今回掲載した情報は、公共交通のみならず、市内外の他の計画等にも利用できると考え追加した。

【会長】

バス停別の乗降客数が整理されており、これを見ると市役所で下車し、道の駅で買い物をして乗車するといった行動が考えられ、この距離であれば歩いて買い物に行くなどの行動の可能性を考えられるという意味で、今後の計画を考える上で非常に良いものである。

【会長】

府中市地域公共交通網形成計画（案）について、承認される方は挙手をお願いしたい。

（委員同意）

挙手多数ということで、可決する。

【事務局】

- 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）の変更について事務局より変更内容について説明。

【委員】

資料にUDタクシーとあるが、「UD認定」を受けていない車両の導入だが問題は無いか。

【事務局】

中国運輸局広島運輸支局と協議済みであるが、再度、運輸支局に問題が無いか確認する。

【会長】

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）の変更について、承認される方は挙手をお願いしたい。

（委員同意）

挙手多数ということで、可決する。

【事務局】

- 情報通信技術を活用した次世代公共交通の取組み（案）について事務局より取組み案について説明。

【委員】

協和地区については自宅まで迎えに来る想定であるか。

【事務局】

自宅と公民館を結ぶものとして考えている。

【委員】

協和地区と高木・中須地区の各地区で乗車の対象となる人口はどのぐらいなのか。

【事務局】

府中市地域公共交通網形成計画（案）に記載されている「町丁目別公共交通利用可能圏域・圏域外人口」より、協和地区は阿字町・木野山町・行藤町・斗升町、高木・中須地区は高木町・中須町のそれぞれの圏外人口の合計人口を想定している。

【委員】

アプリや配車システムはモネットが提供し、実際の運行がタクシー会社ということになるのか。運行は乗合タクシー事業という形か、タクシーの運行実績に応じた契約とするのか。運行形態については想定されているのか。

新年度から実施される網形成計画の主旨に沿って計画を進めて欲しい。

【事務局】

運行は市内のタクシー会社に協力いただく予定である。タクシー車両にモネットのシステムを搭載し、データを蓄積する。

事前予約制による乗合タクシーの形態にしたいと考えているが、予約状況によって形態は考えていく予定である。

【委員】

タクシー会社には4～9人乗りのタクシーがあるが、予約多数の場合は9人までの限定とする、あるいはプラス1台とする可能性はあるのか。

【事務局】

可能性としてはあり得るが、ヒアリングを行い、方向性を決めていきたいと考えている。

【委員】

対象者は高齢者のみなのか。

【事務局】

高齢者に限定はせず、その地区の全員を対象とする。

【委員】

利用するにはスマートフォンを持って、アプリをダウンロードする必要があるということだが、従来持っているスマートフォンでアプリはダウンロード可能なのか。新たに購入が必要なのか。

【事務局】

スマートフォンで利用可能だが、併せてボタン式の機器を用意し、ボタンを押すことによりコールセンターから固定電話に折り返し電話が貰えるようにする方法も考えられる。また固定電話からも予約が可能できるようにするなど、様々な対応方法を検討中である。

【会長】

情報通信技術を活用した次世代公共交通の取組み（案）について、承認される方は挙手をお願いしたい。

（委員同意）

挙手多数ということで、可決する。

○閉会